

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年3月28日



所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科
留学先国	ドイツ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：フリードリヒ・シラー・イエナ大学 現地言語：Friedrich Schiller Uni Jena
留学期間	2013年3月～2014年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Kommunikationswiss.
帰国年月日	2014年3月20日
明治大学卒業予定年	2015年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:4月上旬～7月下旬 2学期:9月中旬～2月上旬
学生数	20,000人
創立年	1558年

留学費用項目	現地通貨 (EUR)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	2,040	285,600円	
食費	800	112,000円	
図書費	200	28,000円	
学用品費	200	28,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	960	134,400円	形態:
渡航旅費	2,000	280,000円	
雑費	3,800	532,000円	
<b>合計</b>	<b>10,000</b>	<b>1,400,000円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:** Narita → Frankfurt / Frankfurt → Narita

渡航費用

チケットの種類    OPEN チケット

往路

復路

合計                    200,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学が紹介している宿舎

2) 部屋の形態

個室    OR     相部屋(同居人数 6)

3) 住居を探した方法:

渡航前に国際教育事務室に候補を出す

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

近さだけで選ぶと意外と tram やバス等の交通手段がなくて大変だったりする

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

チューターだったり仲の良いドイツ人

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特にしていない

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の食堂と寮以外ではネットは基本的に使えなかった。最初は不便に感じたが何事も慣れ。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座に送金してもらっていた。クレジットカードも使用した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

常識ではあるが日本のコンセントをあちらの穴に差し込むための変換プラグなど

## 進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動に向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ，記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由：思ったようにとれていないため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsche Gerenwartssprache	現代ドイツ語
科目設置学部・研究科	Daf
履修期間	半期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Voblikova
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Englisch Everyday English A2	英語
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum
履修期間	半期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Sieber
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Grundlagen der Medienökonomie	メディア経済の基礎
科目設置学部・研究科	Kommunikationswiss.
履修期間	半期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Seufert
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Grundlagen medialer Kommunikation	基礎メディア・コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Kommunikationswiss.
履修期間	半期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Ruhrmann
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Psychologische Grundlagen der Kommunikation	コミュニケーションの心理的基礎
科目設置学部・研究科	Kommunikationswiss.
履修期間	半期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Frindte
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Englisch Everyday English B1/B2		英語	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum		
履修期間	半期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Sieber		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Franzoesisch A1		フランス語	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum		
履修期間	半期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Enke		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Italienisch A1		イタリア語	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum		
履修期間	半期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Villazon		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Spanisch A1		スペイン語	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum		
履修期間	半期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	Villazon		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	留学を志す
4月～7月	ドイツ語検定二級に受かる
8月～9月	フライブルクに留学
10月～12月	選考の準備
2013年 1月～3月	選考通過後は出発への準備に追われる
4月～7月	前期 勉強だけでなくいろんなことに慣れる イベントには積極的に参加し、外国人と沢山友達になる
8月～9月	夏休み 旅行など
10月～12月	後期 忙しくなりつつもこの頃には様々なことに慣れてくる
2014年 1月～3月	帰国への準備 各種手続きを済ませる
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	大学に入った方がいいものの、それから先何を学んでいけばいいのか正直わかりませんでした。そんな中で、偶然選んだ第二外国語であるドイツ語を極めてみようと思いました。強い動機はなくて、それよりもサッカー・ブンデスリーガが好きであったり、美味しいビールを飲みたかったり、金髪美女とお知り合いになりたかったりといったような低俗な理由の方が多かったのですが、おかげ様で無事当初の目的を果たすことができました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ドイツ語圏であるために英語よりもドイツ語力を上昇させなければならず、そのために日本にいる当時から、一年生の時にドイツ語検定 3 級、二年生次には 2 級を取得しました。また二年の夏にはフライブルクのゲーテ・インスティトゥートに一ヶ月留学し、準備を整えました。個人的にもっとやっておけば良かったのは、ドイツ語よりも英語です。ドイツ人は英語がとても上手であり、ドイツ語ができない留学生も多いので、勉強をもっとすべきだったと後悔しました。
この留学先を選んだ理由	まず第一に、ドイツ語専攻ではない情報コミュニケーション学部の私にとって、選べる選択肢がそれほどないということがありました。次に、歴史あり由緒あるイェナ大学は、哲学や世界史に興味のある人間にとって、とてつもなく偉大な場所であったからです。加えて、東ドイツということで西ドイツに比べるとお金がそんなにかからないという一面もありました。
大学・学生の雰囲気	小さな町の人口の 5 分の 1 から 4 分の 1 が学生で、そのうちまたさらに千人ほどが留学生という、学生自治都市のような雰囲気でした。多くの留学生が世界各国から集っていて、雰囲気としては非常に刺激的で毎日が新鮮でした。おそらく日本に住んでいては味わえないであろう空間に身を置いているということが非常に素晴らしかったです。
寮の雰囲気	私の寮は大学からすぐ近くにありましたが、交通手段がないために坂の上まで毎日汗を流しながら歩きました。私の場合は 6 人で共同生活のうち半分が女性、半分がドイツ人となっていました。残り半分はアジア人でした。パーティーなども不定期で行われていたりしましたが、如何せん立地条件と狭くて古いために、たいいてい場合は私の寮ではなく、他の人のところに出向くことが多かったのです。
交友関係	交友関係に関しては、大学やその他で毎日のように開催されているイベントに積極的に参加して言葉も拙い状態でしたが、世界各国の友達を作ることができました。また日本語を学んでいる、または学びたいドイツ人とタンDEMという形を通して定期的に会ったり、更にはそこから交友関係が広がっていったりと様々でした。ソーシャル・ネットワークサービスを通してチャットなどを行って、ほぼ毎日交流していました。帰国してからもそういう付き合いが残っている人たちもいます。
困ったこと、大変だったこと	語学の能力ももちろんありましたが、やはり異文化に適應するということが大変でした。例を挙げるならば、ドイツ人は環境保護のためなのか、使った食器を洗うという習慣がなく、それが原因で揉めてしまったり、ドイツ人が持っている黄色人種に対する偏見だったり、ここで説明しにくいようなこともありました。もちろん全員が全員ではなく、一部に過ぎないのですが、お酒に酔ったドイツ人の若者に日本人が夜、絡まれて侮蔑的な言葉をぶつけられるなどといったこともあったり、少しそのあたりは気をつけた方がいいかと思います。
学習内容・勉強について	勉強に関しては、少人数の授業、講義の授業を両方とっていたのですが、ドイツ人たちは非常に積極的で、また熱心で勤勉でした。日本では講義となると居眠りや携帯をいじる者があふれるかと思いますが、ドイツではそんなことはなく、真面目でかつ発言を堂々とする人が多かったように見受けられます。少人数の授業になると特にそれが顕著で、そのせいで授業が進まないということもありました。
課題・試験について	課題や試験については、ほとんど日本の形と変わらないのかと思いますが、ドイツの人たちは余裕があるというか、普段から着実に勉強を重ねているために一夜漬けのようなことはほとんどなかったように思います。日本に比べるとレポートや宿題のようなものは少なく、テストが大半を占めていました。
大学外の活動について	講演で友達と集まって不定期でサッカーやバドミントンをしたり、日本の文化を説明発表するイベントに参加して、積極的に体を動かしました。留学というどうしても忘れられがちですが、基本的には一人暮らしで家事をやらなければならないので、その辺とのバランスを見ながら、時間のある時には小旅行を重ねて、結果的にほぼドイツの主要都市を制覇しました。

留学を志す人へ	<p>大事なのは語学力ではなく、ノリです。こうやって書いてしまうと誤解を生みかねませんが、国にはその国特有のノリがあり、雰囲気があります。例えば、ドイツの人は知らない人でも公共の場ですぐ話しかけてきたり、また一緒に喜んだり触ってきたり結構フレンドリーです。そういうところで大事なのは、細かい文法ではなく笑顔で接することのできる余裕といいますか、度胸といいますか。恥ずかしがって引きこもっていると、時間を大幅に無駄にすることになるかと思います。毎日楽しんでいれば、ホームシックになんてなりません。勉強だけでなく、スポーツと一緒にやってみたりだとか、一緒に旅行にいてみたりだとか、彼女を作ってみたりだとか。そういうことが大事かと思います。ただたまには落ち着いて、一人孤独を楽しむ時間もまた必要です。</p>
---------	---

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		フランス語					
	イタリア語			洗濯		掃除	旅行
午後			英語				
	スペイン語	タンデム		タンデム	スペイン語		
夕刻	サッカー						
夜				スタムティッシュ(ドイツ人と日本人の交流会)			